

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	戦略的な研究開発の成果を活用したスタートアップ事業創出の推進に必要な経費			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者				
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	SIP/PRISM担当	植木 健司				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条及び第26条			関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月7日閣議決定) 骨太の方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定)					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	SIP等の戦略的な研究開発プログラムは主として大企業等による国際市場への実装・普及を目指すものであるが、新市場の創出や研究成果の早期実装のためにはスタートアップを連携して取り組むことが重要であるため、スタートアップ事業創出特別枠を創設する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本経済のダイナミズムと成長を促し、社会的な課題を解決するためにはスタートアップの育成が鍵である。SIP等の戦略的な研究開発プログラムは主として大企業等による国際市場への実装・普及を目指すものであるが、新市場の創出や研究成果の早期実装のためにはスタートアップを連携して取り組むことが重要である。そのため、スタートアップ事業創出特別枠を創設し、SIP等の戦略的な研究開発プログラムの研究成果を活用したスタートアップによる事業創出を推進する。例えば、SIP等で開発されたデータプラットフォームについて、スタートアップのアイデアを生かした新たなユースケースを募集し、新市場の創出や早期実装につながる優れたものを選定し、スタートアップや連携して開発を行う大学・企業等に対し、アプリケーション等の開発からビジネスモデルの構築まで一貫した支援を行う。									
実施方法	委託・請負、補助、交付									
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	5,000			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	0	0	0	5,000			
	執行額		0	0	0					
執行率(%)		-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	新規創業創出推進費	0	5,000	重要政策推進枠:5,000						
	計	-	5,000							
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	具体的スキームを検討しているところ、今後の予算編成過程等を通じて検討する。									
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策					
		施策			政策評価書 URL	-	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:	-			
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:				
			該当箇所				
事業所管部局による点検・改善							
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明		
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は骨太の方針2022、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画、フォローアップ等の政府文書において、重要な課題として位置づけられている分野のものであり、国民や社会のニーズを反映した事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	SIP等の戦略的な研究開発プログラムの成果をスタートアップにつなげることで、スタートアップによる事業創出、新市場の創出、研究成果の早期実装を目的とするものであることから、民間主導では困難であり、国が主体となって取り組むべき事業である。		
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	上述の通り、重要課題として位置づけられている本事業は、政策体系の中で優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。						
	競争性のない随意契約となったものはないか。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	SIP等の戦略的な研究開発プログラムは主として大企業等による国際市場への実装・普及を目指すものであるが、スタートアップ事業創出特別枠を創設し、SIP等の戦略的な研究開発プログラムの研究成果を活用したスタートアップによる事業創出を推進する。具体のスキームを検討しているところ、今後の予算編成過程等を通じて検討する。		
	事業番号		事業名				
	2022	府	21	0136			戦略的イノベーション創造プログラム(エネルギー分野、次世代インフラ分野及び地域資源分野)
	2022	府	21	0138			官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)
点検・改善結果	点検結果						
	改善の方向性						

外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			

令和3年度			
-------	--	--	--

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

